



副詞と全部否定・部分否定(二〇〇六年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-01-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 酒井, 美里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00007278

副詞と全部否定・部分否定

日本語学研究室 三〇五八 酒井 美里

本研究では、否定表現と呼応する副詞と全部否定・部分否定の関係を明らかにした。

まず、先行研究に基づき否定表現と呼応する副詞を「全部否定を表す副詞」、「部分否定を表す副詞」、「全部否定・部分否定を表さない副詞」に分類した上で、それぞれの副詞を時間や分量といった観点で細分類した。次に、全部否定を表す副詞が部分否定を表すようになる要因として、係助詞「は」による影響と特定の文末表現を取り上げ、検討を加えた。さらに、「全部否定・部分否定を表さない副詞」は、確実性は低いが肯定の要素を表すことを明らかにした。

これらの考察を通して、肯定要素の成立可能性の高低に基づき、部分否定を「確実性の高い部分否定」と「確実性の低い部分否定」に分類した。「確実性の低い部分否定」を設けることで、これまで不明確であった「全部否定・部分否定を表さない副詞」がなくなり、否定表現と呼応する副詞は全て「全部否定を表す副詞」「部分否定を表す副詞」のどちらかに分類できることを示した。結論として、全部否定は肯定要素を全て否定するもの、部分否定は否定文でありながら肯定要素を残すものであるということを肯定要素の性質に着目することで明確にできることを明らかにした。